まぼろしの魚「ヒメマス」の秘めごと

皆さんはヒメマスをご存じですか？　中禅寺湖や湯の湖、川俣湖で釣ることができ、食べてもおいしい魚です。

今回は、ヒメマスについてご紹介します。

◆ヒメマスとは

ヒメマスは、皆さんがよく知っているベニザケの陸封型（※りくふうがた）です。体形はスマートで、背面は美しいあい色、側面は銀白色です。肉は鮮紅色ですが、湖の餌によりだいだい色あるいは白色がかります。毎年紅葉の始まる直前、奥日光の紅葉に負けないぐらい真っ赤な婚姻色になったヒメマスが、産卵のために川をさかのぼります。それを中禅寺湖漁業協同組合の人たちが地引き網で捕まえ、卵をとって稚魚を育て、毎年放流しています。この様子は、中禅寺湖に流入する菖蒲（しょうぶ）ケ浜の清水という河川で見ることができます。その後、2～3年かけて体長30㎝前後の成魚になると、放流された河川へ戻ってきます。

※陸封型…地形の変化による河川のせき止めなどで、海に出ることなく内陸の湖や河川にとどまって成長・繁殖するようになった魚。

◆中禅寺湖移植の歴史

ヒメマスの原分布は、北海道やオホーツク、カムチャツカ半島、北アメリカ大西洋岸の限られた湖沼です。

日本の原産地は阿寒湖と網走川（あばしりがわ）上流のチミケップ湖で、支笏湖（しこつこ）、十和田湖へと卵が移植され、1906（明治39）年に中禅寺湖に移植され人工ふ化放流したのが栃木県で最初のヒメマスです。また、1916（大正5）年には、湯ノ湖に初めてヒメマスの稚魚が放流されました。近年、栗山地域の川俣湖でも、稚魚の放流が盛んに行われています。

◆釣り

奥日光は、豊かな自然環境に恵まれた貴重なアウトドアフィールドです。また、日本のフライ・ルアーフィッシングの聖地でもあります。中禅寺湖や湯川、湯ノ湖では、ヒメマスやホンマス、ニジマスなどの釣りが楽しめます。しかし、解禁期間が決められていることや、場所によっては禁漁区があることに注意しましょう。

ヒメマスの地引き網の様子。

釣りが解禁になると、関東近県から大勢の釣り人がヒメマスを狙いに訪れます。ヒメマスは、早朝と日没時には泳層が底から上層になりますが、日中は底近くを泳ぐので、泳層を探すのが成果をあげるこつになります。

◆食べ方

ヒメマスは、どんな料理にしてもおいしい魚です。塩焼きは脂がのった身と塩との相性が良く、刺身にすると口の中でとろけ、すし飯ともよく合います。ほかにもフライ、薫製（くんせい）などにしてもおいしくいただけます。ぜひお試しください。

夏休みは親子で魚と触れ合おう

水産フェア2010
～親子で魚つかみどり大会～
…8月1日(日)
※詳細は、情報なび（26ページ）をご覧ください。

くわしくは
農林課　農政係
☎(21)5171

とちぎの元気な森づくり事業候補地募集

元気な森林を次の世代に引き継いでいくためのとちぎの元気な森づくり事業。今年度も市が主体となって実施する「明るく安全な里山（さとやまりん）林整備事業」の候補地を募集します。

明るく安全な里山林整備事業

この事業は、標高や地域を問わず、人家などの周辺にあり、将来まで守り残したい森林や通学路沿いの暗い森林などを整備します。

整備の目的と内容

①将来まで守り育てるために

希少な野生動植物などが生息・生育する自然環境や優れた自然景観を保全したり、自然との触れ合い機能を向上させたりするために、藪（やぶ）の刈り払いや樹木植栽、遊歩道整備、標識設置など、地域が将来まで守り育て残したい里山林を整備します。

◉平成21年度の実施場所
○大室
○板橋（城山）

大室

②通学路などの安全・安心のために

通学路沿いや住宅地周辺にある、暗くうっそうとした里山林を、不要木の除去や藪の刈り払いなどで整備し、通行者の安全・安心を確保します。

◉平成21年度の実施場所
○大室
○原宿
○小代
○日向

板橋（城山）

③野生獣被害を軽減するために

野生獣被害が発生したり、発生する恐れがあったりする田畑などに隣接する里山林の不要木の除去や藪の刈り払いなどを実施し、野生獣を人里に近づけないようにします。

◉平成21年度の実施場所
○長畑
○明神
○岩崎
○滝ケ原
○中小来川
○和泉

原宿

岩崎

整備森林の保全

整備された森林は、市との協定により、ほかの用途への転用が10年間禁止されるなどの保全措置が取られます。

整備後の維持管理

整備された森林を維持管理する団体に対し、1ha当たり年間5万円の維持管理費が整備後4年間交付されます。

森林・団体の募集

整備を希望する森林と、森林を適切に維持管理する意思のある市内の自治会や地域組織などの団体を、それぞれ募集します。地域ごとに受け付けますのでご連絡ください。

なお、事業実施に当たっては、森林所有者と維持管理団体、市が協定を結びます。

10月16日は「元気な森づくりの日」

県では、皆さんが森づくり活動に参加したり、森林の大切さを考えたりする日として、毎年いろいろな催し物を行っています。

応募先及びくわしくは
農林課　☎(21)5172
㊐産業建設課☎(54)1114
㊤産業建設課☎(76)4109
㊦産業建設課☎(93)3117
㊥産業建設課☎(97)1133